

棚倉町立棚倉中学校

教科名等：学級活動
単元(題材)名：男女の協力
学年：第3学年



実施状況

11月11日（木）の棚倉町教職員研修会にあわせて本授業の公開を行いました。町内の幼・小・中・高校の教職員の研究交流の場として設定されており、当日はたくさんの先生方に参観していただきました。事前に調査した家族の家事分担アンケートの結果をもとに、母親や祖母の負担が非常に大きいことを捉え、家事の大半を女性が担当していることを理解しました。

ジェンダーという言葉と意味を紹介し、世の中に依然として残る男女の社会的性差を理解した上で、ロールプレイや総理府等によるデータから、共働きの家族が増えていること、夫は外で働き、妻は家庭を守ることに時代とともに否定的な傾向になってきていることを理解しました。

最後に、未来の家庭づくりマニフェストを書き、自分なら未来のパートナーとどのように家事分担を行うかを考えました。

生徒の感想

- 今まで私は、「妻が家事をして夫は仕事」という考え方を持っていましたが、未来の家庭では、自分と夫で家事分担をして一緒に協力していきたいと思います。
- 「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考えにとらわれないで、2人で協力しながら家事をやれればいいと思いました。
- 自分もたぶん将来、共働きになると思うので、未来の妻に任せきりにせず、自分も家庭を守っていきたいと思いました。
- パートナーが忙しい時は、言われなくても自分から進んでやれる人になりたいと思います。

参観者の感想

- 男女の仲がよく、お互いを尊敬し合っているクラスに感じられた。ランキング発表の際にたくさんの生徒がプレゼンテーションで紹介されたが、賞賛の拍手が素晴らしかったです。
- 自分の家庭しか見たことがない生徒たちが、他の家庭の情報を知って、ジェンダーを理解したことで、考え方には大きな変容が見られたのではないかと感じました。
- アンケートの提示がわかりやすかったし、生徒が楽しめるようなつくりであったので、それをもとに男女の協力について考えるよいきっかけとなったのではと思います。

指導者の感想

そう遠くはない未来において、家庭を築いていくことになる生徒にとって、今回の授業は、男女が互いに助け合う家庭を作っていくことの大切さを気付かせるよいきっかけになればと思い、授業を行いました。授業のはじめは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えが多かったのに対して、終わりには、「互いに協力すべき」という考えになれた点が、よかったです。

